

年
 組
 番 名前

教材 7 - A - (1) 近代・現代の社会の様子

次の(ア)～(ヌ)の説明はどの時期のものであるかを、【表】の中から選び、番号で答えなさい。

【表】

明治 (1868～1912)		大正 (1912～1926)	昭和 (1926～1989)	平成 1989～
明治維新 立憲国家 (1868～1890)	日清・日露戦 争 近代産業 (1891～1913)	第一次世界大 戦と日本 大正デモクシー (1914～1928)	世界恐慌 第二次世界大 戦と日本 (1929～1945)	現代の日本と 世界 (1945～)

【社会の様子】

- (ア) 三国干渉によって国民の間にはロシアへの対抗心が高まり、政府も大規模な軍備の拡張を中心とする国力の充実を図った。
- (イ) 高度経済成長によって、国民の所得は増え、テレビ、洗濯機、冷蔵庫などの家庭電化製品が普及し、くらしが便利になった。
- (ウ) 倒幕の中心勢力であった少数の公家や、薩摩、長州、土佐、肥前の4藩の出身者たちが政治の実権を握った。
- (エ) 洋服が男性に普及したが、バスガールや電話交換手などの働く女性の増加や、女学校の制服に洋服が採用されたことから女性にも洋装が広がった。
- (オ) 「ちょんまげ」をやめることが許され、やがて禁止された。また、帯刀も禁止された。
- (カ) 社会主義者の幸徳秋水やキリスト教徒の内村鑑三などは開戦に反対したが、新聞などが主張する主戦論が世論を動かし、政府も開戦の準備を進めた。
- (キ) 農村では過疎化が進み、逆に過密になった都市では交通渋滞や住宅問題もおきた。また大気汚染や水質汚濁などの公害問題も深刻となった。
- (ク) 好況による物価の上昇に加え、シベリア出兵をきっかけとした米の買い占めから値段が大幅に上がったために、安売りを求める米騒動が全国に広がった。
- (ケ) 労働者の地位の向上をめざして友愛会が結成された。その後全国組織へと発展し、日本で最初のメーデーを主催した。
- (コ) それまで徴兵を猶予されていた文化系の大学生などが軍隊に召集される学徒出陣も行われた。
- (サ) えた身分、ひにん身分などの呼び名を廃止し、平民と同じとする布告が出されたが、職業、結婚、住む場所などの面で差別は根強く続いた。
- (シ) 欧米の近代思想も次々に紹介され、キリスト教の禁止も解かれ信仰の自由が認められた。活版印刷の普及により、日刊新聞や雑誌が発行されるようになった。

- (ス) 女性差別から解放をめざす運動もさかんになり、平塚らいてう(らいちょう)は新婦人協会を設立し、女性の政治参加の自由などを求める運動をくり広げた。
- (セ) 藩閥の内閣が、議会を無視する態度をとったとして、新聞や知識人などが憲法にもとづく政治を守ろうとする第一次護憲運動をおこした。
- (ソ) アメリカの水素爆弾の実験で第五福竜丸が被ばくした事件をきっかけとして、原水爆禁止運動が全国に広がった。
- (タ) 政府の政策に不満をもつ士族たちは、西日本を中心に各地で武力蜂起した。なかでも西南戦争は最も大きなものであった。
- (チ) 被差別部落の人々が、差別からの解放をめざす運動(部落解放運動)をすすめて、京都に全国水平社を結成した。
- (ツ) 生活必需品の生産が圧迫を受け、砂糖、マッチ、木炭、綿製品などが切符制となり、米も配給制となった。
- (テ) 新橋・横浜間に鉄道が開通するなど主要な港と大都市を結ぶ鉄道が開通した。また、郵便制度や電信網が整えられた。
- (ト) 国民の戦意は、新聞などのマスメディア、小説家や芸術家たちによって高められ、情報は政府の統制下に置かれ、正確な戦況すら知らせられなかった。
- (ナ) 民主化に向けた動きが高まり、日本社会党(社会党)が結成され、日本共産党が再建されるなど、抑圧されていた政党が活動を再開した。
- (ニ) アメリカとの関係を対等にし、強化することをめざして新しい安保条約を結んだが、それに対して激しい反対運動がおきた。
- (ヌ) バブル経済といわれる、投機によって株式と土地の価格が異常に高くなる不健全な好景気の状態になったが、その後、崩壊した。

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)

(カ)	(キ)	(ク)	(ケ)	(コ)

(サ)	(シ)	(ス)	(セ)	(ソ)

(タ)	(チ)	(ツ)	(テ)	(ト)

(ナ)	(ニ)	(ヌ)